1 安心・安全の提供

当社グループが管理する住宅やオフィスビルでは、建物の安全性の確保と防災対応の強化に加え、日常的な整備・運営管理を通じて、安心・安全・快適な施設の提供に努めています。グループ一体で培った技術力と専門性の高い運営管理のもと、安全・品質、お客さま満足度の向上を第一に、建物特性や用途に応じた取り組みを進めています。また、中央日土地ファシリティーズでは、専門の技術者が耐震診断・設計・補強工事・設備メンテナンスなどを担い、建物の安全性と快適性の維持に取り組んでいます。

耐震性の確保

保有不動産や新規取得時に建物診断および地震リスク診断を実施し、適宜耐震設備強化を実施しています。

非常用発電機（大崎ウィズタワー）

防災設備・備品の整備

台風や地震などの自然災害に備え、防災設備や備品を導入しています。オフィスビルへの設備導入に加え、「BAUS」シリーズでは、各住戸に防災グッズや非常食を封入した「BAUS防災リュック」を標準備品として配布しています。また、入居後の家族構成の変化に応じて、防災備蓄品を優先・優待価格で追加購入できるサービスも導入しています。

BAUS防災リュック（イメージ）

防災訓練の実施

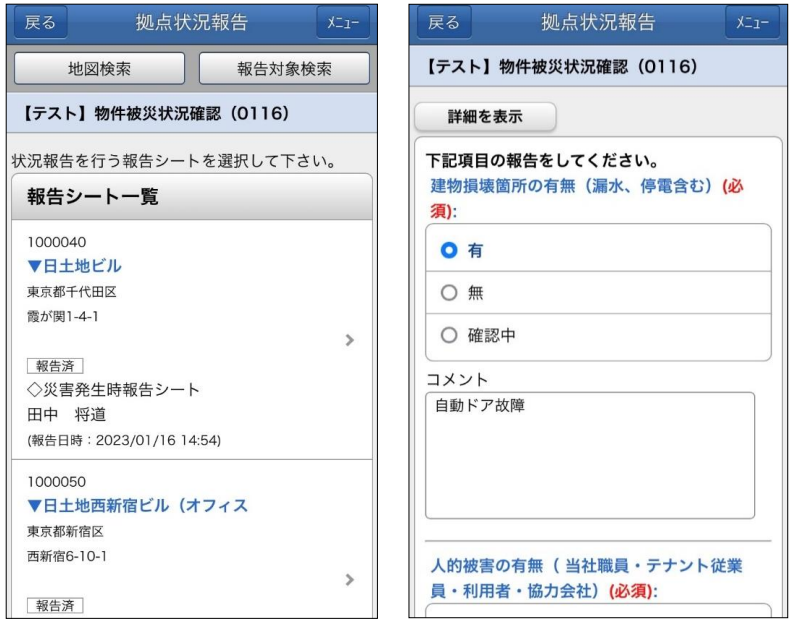
災害発生時に備え、定期的に消防訓練を実施しています。通報・避難訓練、初期消火訓練、AEDによる応急救護訓練などを通じて、防災・防火意識の向上を図るとともに、自助・共助・公助のアクションを確認できる機会を提供しています。

防災訓練の様子

1 安心・安全の提供

被災情報収集の効率化

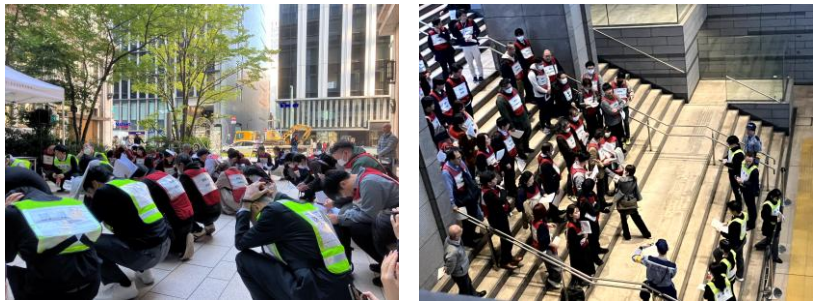
当社グループが管理するオフィスビルでは、災害発生時の情報収集を支援するシステムを導入し、被災状況を迅速に把握できる体制を整えています。実際に台風や地震等の災害時にも活用し、初動対応の円滑化に役立てています。



システム操作画面

災害発生時の帰宅困難者支援

「京橋エドグラン」は、東京都中央区の帰宅困難者一時滞在施設に登録されており、災害時には約2,000名の帰宅困難者を受け入れることができるよう、備蓄品を整備しています。また、建物には中間層免震構造を採用し、非常時でも72時間運転可能な発電設備や建物被災度判定システムを備えることで、入居者のBCP支援と帰宅困難者の受入体制を強化しています。さらに、「帰宅困難者誘導及び受入訓練」を実施し、対応体制の強化を図っています。訓練には、東京都の帰宅困難者対策オペレーションシステム「キタコンDX」も活用し、有事の際の受入状況の共有や情報発信の円滑化にも取り組んでいます。



帰宅困難者誘導及び受入訓練の様子